

Ⅲ 試験研究の成果

1 試験研究成果

(1)令和6年度成果数

成果区分	普及 (普及に移しうる 成果)	指導 (技術指導に 参考となる成果)	行政 (行政施策等に反 映すべき成果)	研究 (研究手法等に 関する成果)	総計
1 農業構造・経営管理			1		1
2 生産工学			1		1
3 水稻		3	3		6
4 畑作物					0
5 特産作物					0
6 果樹	1	6	1	1	9
7 野菜		7		4	11
8 花き	1	1	2		4
9 土壌作物栄養		3			3
10 病害虫制御		4		1	5
11 乳用牛		1	1		2
12 肉用牛	1	1	5	1	8
13 中小家畜(豚・鶏)		1			1
14 草地・飼料作物	1	1			2
15 畜産環境					0
共通					0
[計]	4	28	14	7	53

普及:農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果

指導:普及指導員等の技術指導上の参考として適当と認められる成果

行政:行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの

研究:研究手法・分析手法、育種母本及び近い将来、普及区分や指導区分の試験研究成果として発展が見込める成果

(2)令和6年度成果名一覧

【普及(普及に移しうる成果)】

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
果樹	R6-普-01	耐寒性に優れ、裂果や病害が少なく、栽培が容易な醸造用白色ぶどう品種「ヤマブラン」	果樹
花き	R6-普-02	8月上旬開花の切り花向け青色りんどうF1品種「いわてEB-5号」の育成	花き
草地・飼料作物	R6-普-03	ペレニアルライグラス晩生優良品種「夏ごしペレ」	家畜飼養・飼料
肉用牛	R6-普-04	脂肪交雑及び枝肉重量の産肉能力に優れる黒毛和種県有基幹種雄牛「福太郎3」(ふくたろう3)号及び「菊美翔平」(きくみしょうへい)号	種山畜産

【指導(技術指導に参考となる成果)】

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
水稻	R6-指-01	令和6年岩手県産水稻の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	生産システム
水稻	R6-指-02	リゾケアXLを用いた水稻の湛水直播栽培の特徴	生産システム
水稻	R6-指-03	夏季高温年における稲体窒素栄養状態と白未熟粒の発生傾向	土壌肥料
土壌作物栄養	R6-指-04	水田土壌における20年間の有機物長期連用が土壌化学性と水稻の養分収支に及ぼす影響	土壌肥料
土壌作物栄養	R6-指-05	水田土壌における20年間の有機物長期連用が水稻の収量と玄米品質、窒素吸収パターンに及ぼす影響	土壌肥料
土壌作物栄養	R6-指-06	小麦品種「ゆきちから」は茎立期追肥により精子実重が増加する	土壌肥料
病虫害制御	R6-指-07	新規系統薬剤によるダイズ紫斑病の防除	病理昆虫
果樹	R6-指-08	ぶどう「シャインマスカット」におけるメピコートクロリド液剤散布による副梢発生本数への影響と新梢管理作業の省力効果	果樹
果樹	R6-指-09	おうとう「佐藤錦」の受粉樹として利用でき、食味良好な早生品種「紅ゆたか」	果樹
果樹	R6-指-10	岩手県におけるブルーベリー品種の特性	果樹
果樹	R6-指-11	りんご幼木における急性衰弱症既発生園地での改植時の防除対策	果樹
果樹	R6-指-12	りんごJ M台利用樹に発生する急性衰弱症の発生メカニズムと発生助長要因	病理昆虫
果樹	R6-指-13	リンゴ褐斑病と黒星病を同時防除できる「開花直前」の防除薬剤	病理昆虫
病虫害制御	R6-指-14	近年におけるリンゴ炭疽病の多発要因と防除対策	病理昆虫
野菜	R6-指-15	きゅうりのハウス無加温長期どり作型の摘心栽培における低コスト環境制御技術導入による増収効果	野菜
野菜	R6-指-16	ピーマン軟腐病による軟化腐敗果の発生低減対策	野菜
野菜	R6-指-17	岩手県の雨よけ夏秋栽培におけるピーマン台木品種の病害抵抗性及び生育特性	野菜
野菜	R6-指-18	夏まきブロッコリーの加工業務用大型花蕾生産に適する定植時期と品種特性	野菜

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
野菜	R6-指-19	四季成り性いちご品種「夏のしずく」の夏秋どり栽培における最適な栽植距離	南部園芸
病虫害制御	R6-指-20	ねぎ栽培における小菌核病と白絹病の同時防除	病理昆虫
病虫害制御	R6-指-21	夏秋栽培トマトにおけるヒラズハナアザミウマによる果実の白ぶくれ症被害率の品種間差異	病理昆虫
野菜	R6-指-22	雨よけほうれんそうにおけるミスト噴霧による省力及び増収効果	果樹・野菜 (県北)
野菜	R6-指-23	施設きゅうりの抑制作型における株元加温技術の導入効果	果樹・野菜 (県北)
花き	R6-指-24	りんどう晩生品種「いわて夢のぞみ（いわてLB-3号）」における千鳥疎植栽培の適用性	花き
乳用牛	R6-指-25	乳用牛群能力検定データを活用した乳中脂肪酸組成及びケトン体濃度の可視化ツール	家畜飼養・飼料
肉用牛	R6-指-26	黒毛和種肥育牛への発酵TMR給与による出荷月齢の早期化と枝肉格付の向上	家畜育種
中小家畜 (豚・鶏)	R6-指-27	飼料へのエゴマ油粕添加による南部かしわ鶏肉中 α -リノレン酸割合の向上技術	家畜育種
草地・飼料作物	R6-指-28	日本短角種妊娠牛における乳汁中PAG濃度測定による分娩日の推定	外山畜産

【行政(行政施策等に反映すべき成果)】

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
農業構造・ 経営管理	R6-行-01	水稲スマート農業技術体系の省力性がもたらす経営上の効果	農業経営
水稲	R6-行-02	令和6年度における水稲奨励品種決定基本試験の本試験・現地試験結果	水田利用
水稲	R6-行-03	令和7年度水稲奨励品種決定基本試験 本試験・現地試験に新たに供試する系統	水田利用
水稲	R6-行-04	令和7年度水稲奨励品種決定予備試験に新たに供試する「岩手161号」、「岩手162号」、「岩手163号」	作物育種
生産工学	R6-行-05	水田暗渠を利用した地下かんがいの大豆栽培における生育改善効果	水田利用
果樹	R6-行-06	りんご育成系統「岩手21号」、「岩手22号」の果実特性	果樹
花き	R6-行-07	令和6年度りんどう奨励品種決定試験結果	花き
花き	R6-行-08	令和7年度りんどう奨励品種決定試験に新たに供試する系統	花き
乳用牛	R6-行-09	305日乳量及び空胎日数が優れる経営体に共通する生産性の向上要因	家畜飼養・飼料
肉用牛	R6-行-10	日本短角種産肉能力検定(直接法)成績	家畜育種
肉用牛	R6-行-11	日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	家畜育種
肉用牛	R6-行-12	県内黒毛和種集団における新細かさ指数及び一価不飽和脂肪酸割合の遺伝的パラメーターと育種価の推定	家畜育種
肉用牛	R6-行-13	黒毛和種産肉能力検定(直接法)成績	種山畜産
肉用牛	R6-行-14	黒毛和種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	種山畜産

【研究(研究手法等に関する成果)】

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
果樹	R6-研-01	りんご新規摘花剤「MCPB乳剤」の「ふじ」に対する効果	果樹
野菜	R6-研-02	夏秋ピーマンにおける軟化腐敗果の発生原因	野菜
野菜	R6-研-03	四季成り性いちご品種「なつあかり」における花成誘導促進に対する光質の影響	南部園芸
病虫害制御	R6-研-04	夏秋栽培トマトにおける天敵昆虫タバコカスミカメの加害による果実の陥没症状の特徴	病理昆虫
野菜	R6-研-05	施設園芸における高含水率対応木質チップボイラーの実用性	果樹・野菜 (県北)
野菜	R6-研-06	県北地域における根こぶ病抵抗性寒玉キャベツの品種比較	果樹・野菜 (県北)
肉用牛	R6-研-07	日本短角種長期肥育におけるふすま代替給与の効果	家畜育種

2 追跡評価

○令和6年度追跡評価の実施結果

(1) 評価対象

普及区分4成果及び指導区分20成果、合計24成果

※普及区分(令和元年度1課題、令和3年度3課題)

指導区分(令和2年度1課題、令和3年度19成果)

(2) 評価区分及び評価者

評価区分	成果区分	評価者	評価視点
内部	普及、指導	各担当研究室長	現在の有効性
外部	普及	生産者等（JA含む）、普及C	成果の活用状況
	指導	普及C	成果の活用状況

(3) 評価結果

ア 内部評価

評価結果はいずれもAであった。

区分	有効性	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
普及	A	9	10	1	6	8	6	5	7 + 1	4	3
	B		2	1							
	C		1								
	D										
指導	A	21	35	32	18	36	41	37	30	37 + 1	19
	B		1	1	1						
	C										
	D										

(注) 太字は今回評価の対象成果

A:現在でも有効

B:既に成果の目的を達成し、現在では有効性がない

C:後年度の成果に反映

D:無効(Bに含まれないもの)

イ 外部評価（括弧内は前年度の値）

(ア) 成果区分「普及」

a 生産者等評価

① 活用状況は、「現在も活用している」が40.0% (75.0%)、「以前活用したが、今は活用していない」が20.0% (0.0%)、「活用の機会がない」が40.0% (25.0%)であった。
「活用の機会がない」理由としては、メーカーの品種を用いて同等の収量を得ているためという回答があった。

② 満足度は、「満足」が20.0% (12.5%)、「概ね満足」が40.0% (75.0%)、「あまり満足できない」が40.0% (12.5%)であった。
「あまり満足できない」理由としては、標高差で数値のズレが大きいという回答があった。

b 普及センター評価

① 経営体での活用状況は、「よく活用されている・活用されている」が77.7%、「あまり活用されていない・活用されていない」が22.3%であった。

② 「あまり活用されていない・活用されていない」理由としては、品種の収量性の面から導入に慎重になっているためという回答や、メーカー品種のシェアが大きいという回答があった。

(イ) 成果区分「指導」

a 普及センター評価

- ① 指導上の参考になったかは、「大いに参考になった・参考になった」が93.8% (85.7%)、「あまり参考にならなかった・参考にならなかった」が6.2% (14.3%)であった。
- ② 指導効果が得られたかは、「大いに得られた・得られた」が73.5% (60.2%)、「あまり得られなかった・得られなかった」が26.5% (39.8%)であった。
- ③ 「あまり参考にならなかった・参考にならなかった」及び「あまり得られなかった・得られなかった」理由としては、成果を活用する機会がないためという回答等があった。

表 追跡評価の結果

成果区分	評価者	回答率	質問	回答	
普及	生産者等	100.0%	成果の活用	現在も活用している	40.0%
				以前活用したが、今は活用していない	20.0%
				活用していない	40.0%
			成果の満足度	満足	20.0%
				概ね満足	40.0%
				あまり満足できない	40.0%
	普及セ	100%	経営体での活用	その他	0.0%
				よく活用されている	16.7%
指導	普及セ	100%	指導上の参考	活用されている	50.0%
				あまり活用されていない	16.7%
				活用されていない	16.7%
				活用されていない	16.7%
			指導効果	大いに参考になった	46.9%
				参考になった	46.9%
指導	普及セ	100%	指導上の参考	あまり参考にならなかった	2.0%
				参考にならなかった	4.1%
			指導効果	大いに得られた	38.8%
				得られた	34.7%
			指導効果	あまり得られなかった	12.2%
				得られなかった	14.3%

3 東北農業研究成果

<研究成果情報>

(1) 研究成果数

推進部会名	畜産飼料作	計
研究成果数	2	2

(2) 研究成果名

推進部会名	成 果 名	分 類	主査研究室
畜産飼料作	日本短角種妊娠牛における乳汁中PAG濃度測定による分娩日の推定	普及	外山畜産
畜産飼料作	岩手県黒毛和種集団における新細かさ指数及び一価不飽和脂肪酸割合の遺伝的パラメーターと育種価の推定	研究	家畜育種